

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	放課後児童健全育成事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'01	①〈地域力〉 地域組織や市民活動の力を育て、まちづくりに活かす	
	'03	3 地域社会で家庭や地域の子育てする力を高める	
根拠法令等	平塚市放課後児童クラブ条例、平塚市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 等		
対象・受益者	小学生及び保護者	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 放課後児童健全育成事業運営委員】		
	目的・目標		事業の概要
児童の健全育成が図られるとともに、仕事と子育ての両立が実現しています。		柔軟で効率的な事業展開を図るため、事業運営を放課後児童クラブへ委託するとともに、安心・安全な保育環境実現のため、民間借家の放課後児童クラブを小学校余裕教室等の公共施設への移設を進めます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	施設整備に係る協議回数			単位	回
	説明・算定式	公共施設管理者や既存利用団体との交渉等の回数、専用施設建設に係る交渉等の回数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	10	10	10		
	実績	10	10	10		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	施設整備件数			単位	件
	説明・算定式	既存公共施設への移設(分割を含む)や専用施設の建設などの整備件数の累計				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標	19	20	24		
	実績	21	22	24		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
平成27年度は、子ども・子育て支援新制度が施行され、本市でも放課後児童クラブの職員の資格や職員数などの基準を定めた「平塚市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」を施行しました。施設整備については、松が丘、中原、大原小学校区を対象としている既存クラブを1単位から2単位としたほか、松原小学校区のクラブを分割し運営委託を行いました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	児童福祉法で市町村が実施に努めるべき事業と定めており、また最近では、女性の社会進出や児童が被害者になる犯罪の増加からニーズも高く、市が取り組む事業として高い必要性があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	少子化が進行する中でも学童保育の利用者は増加しており、その充実が市民満足度を高めるうえで有効です。少子化対策や次世代の健全育成を図るためにも有効な事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	学童保育が公的サービスであることから、応能負担の原則により、世帯収入に応じた適切な利用料金を研究する必要があります。また、ニーズが拡大していることから、人員配置の充実も求められます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	学童保育の運営は、保護者会を始めとする各種団体への委託方式により行われていますが、保護者会運営は働く親にとって負担になっているので、社会福祉法人やNPO団体等の活用も検討する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 働き方の多様化や女性の活躍促進等により学童保育に対するニーズは、高いものがあります。このため各地区の状況を細かく把握し、新規だけでなく分割等の手法も駆使した施設の充実が必要です。また、利用児童の安心・安全のため、老朽化、狭隘化している民間借家で運営されている学童クラブは、できるだけ速やかに公的施設への移転を進めていく必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施	児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施	児童クラブへの運営委託、施設整備等の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	80,603	124,526	140,972
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	163,749	125,377	119,928
事業費 (A)		244,352	249,903	260,900
執行率 (%)		96.23	92.56	92.64

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 利用児童数の増加等の動きを注視し、放課後児童クラブの支援の単位の増加や分割、新規委託等を検討していきます。また、平塚市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に沿った学童クラブへの助言や指導を進めていきます。
課長コメント 保護者の就労形態の多様化や女性の活躍を促進する施策展開により、放課後児童クラブに対するニーズは高いものがあります。今後の施設整備に向けては、小学校児童数の減少と学童保育利用ニーズの増加のバランスを見ながら保育環境の充実によりきめ細かく対応していきます。